



写真1:コガモがメスに求愛中の写真。
胸を張るように伸びあがっているところ。



習志野市の宝“谷津干潟”の
未来を明るく照らす

谷津干潟はカモの 恋の舞台

秋から冬にかけて、北の国からカモの仲間が冬越しのために渡ってきます。谷津干潟は、カモたちにとって、オスとメスがつがいをつくる「出会いの場所」にもなっています。そんな、カモたちの冬の生態について紹介します。

●羽の生え変わりは恋のため

カモの仲間が日本に渡ってくる季節は秋で、谷津干潟へは9月頃にやってきます。渡ってきたばかりのころは、どのカモも羽模様が茶色で、とても地味に見えます。ところが、だんだん秋が深まるにつれ、オスのカモは様々な色や模様のある羽に生え変わり、まるで別人（別鳥？）のように美しく変身します。

オスのカモの羽がきれいになる理由は、繁殖のしくみが関わっているといわれています。多くのカモの場合は、メスがつかいの相手の選択権を持っており、オスは求愛に役立つ派手な色や模様のある羽を進化させてきたのではないかと考えられています。

谷津干潟でも10月頃には、羽の生え変わる途中のオスのカモが見られるようになり、11月頃には、すっかり色とりどりの美しい羽へ生え変わった姿を楽しめるようになります。

●カモの求愛

冬になるころ、カモたちの本格的な求愛のシーズンが始まり、メスに一生懸命に求愛するオスのカモの姿が見られるようになってきます。

カモの求愛は、オスからメスへダンスのような行動を見せることで行われます。カモの種類によってダンスのやり方はさまざまですが、メスに自分を選んでもらうために、オスは競うようにして自慢の羽を見せびらかすようなポーズをとったり、泳ぎ回ったりします。

コガモの場合は、ピリッ、ピリッと鳴きながら、メスの周りを数羽のオスで取り囲むようにして泳ぎます。そして、胸を張るように伸びあがったあと（写真1）、おしりを持ち上げてチャームポイントの黄色い模様をメスに見せ



写真2:オナガガモのオスが群れてメスに求愛しているところ

るようになります。オナガガモの場合も、メスの周りを囲むようにしたり、おしりを上げるようにして泳ぎながら、自慢の長い尾羽をメスにアピールします（写真2）。ときには、何羽ものオスに追い回されたメスのような場面も見られます。カモが怒ったように「グエツ、グエツ」と鳴きながら逃げて行ってしまうこともあり、カモのオスもなかなか大変なようです。

真冬の谷津干潟では、こうした恋のバトルを経て、めでたくつがいになったオスとメスの様子が見られます。カップルは仲良く連れ添って泳いだり、共にエサを探したりと、いつも一緒に行動していて、仲の良い様子が観察できます。



写真3:ヒドリガモのオス
赤い頭で、おでこが黄色い。



写真4:ハシビロガモのオス
緑色の頭で、目は金色。しゃもじのように大きく広がった黒いくちばしが特徴。

●冬の干潟でカモウォッチングしてみませんか？

カモたちのさまざまな恋模様が見られるのも、冬の谷津干潟の楽しみの一つです。ほかにも、ヒドリガモ（写真3）やハシビロガモ（写真4）などのカモが谷津干潟にやってきて、さまざまなカモの美しい羽模様、そして恋模様が見られます。

そして、暖かい館内から観察できるのも、谷津干潟自然観察センターのいいところ。館内では、レンジャーが案内するミニ観察会などのイベントがあります。双眼鏡などの道具の貸し出しもあります。ぜひ、おいでになってください。

実施中

不妊・去勢手術キャンペーン

不幸な犬猫をなくす
ネットワーク千葉

対象 犬、猫。手術費用にお困りで、
東京・神奈川・千葉・埼玉の指定病院に連れていける方

料金 猫メス10,500円、猫オス5,500円、犬メス18,500円、犬オス10,500円（15kg以上の犬は料金加算）

応募方法 封書にて、手術を受けさせたい①犬猫の別②性別③頭数④申込者の住所・氏名・電話番号を明記

92円切手を貼った返信用封筒を同封。

送り先 〒285-0807

千葉県佐倉山王郵便局留「不幸な犬猫をなくすネットワーク千葉」

手術期間 平成27年3月末まで